

2総防管第3094号  
令和3年2月5日

一般社団法人日本ショッピングセンター協会 御中

東京都知事  
小池百合子  
(公印省略)

### 新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に向けた都の取組の推進について

日頃より、東京都の施策の推進に御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

現在、都内の感染者数は減少傾向に転じたものの、通常の医療が逼迫するなど、深刻な状況が継続しています。

こうした中、国において、1都3県を含む10都府県を対象に、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を3月7日まで延長することが決定されました(資料1)。

このことを受け、都は、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等」を延長しました(資料2)。

この内容は、都民の皆様に対しては、法第45条第1項に基づき、不要不急の外出自粛の要請、事業者の皆様に対しては、法第24条第9項に基づき、飲食店等に対する営業時間短縮の要請(営業時間は5時から20時まで。ただし、酒類の提供は11時から19時まで)、業種別ガイドライン遵守の要請及びイベントの開催制限の厳格化(人数上限5,000人、かつ、収容率50%以下)の要請、また、法には基づきませんが、同様の内容について、各種施設に対して引き続き、ご協力をお願いするものです。

また、令和3年2月4日付けの内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室による事務連絡(資料3)において、イベントの開催制限、施設の使用制限等の留意事項について、国の方針が示されました。

「1. 催物の開催制限」、「2. 施設の使用制限等」については、東京都は、「特定都道府県」(緊急事態宣言の対象区域に属する都道府県)に該当しますので、「(1) 特定都道府県」に記載の内容を適用します。「3. 飲食店等における営業時間短縮の要請等の協力の周知徹底」については、現在の都からの飲食店等に対する営業時間短縮の要請に依拠していただくよう、また、営業時間短縮の実態把握等が行われた際には、ご協力いただくよう、会

員企業・団体等に周知願います。また、4. については、職場・飲食店における業種別ガイドラインの遵守徹底をお願いいたします。

皆様におかれましては、すでに感染拡大防止のための取組を推進していただいているところでございますが、より一層の御協力を賜りますとともに、関係者の皆様への周知等につきまして、よろしくお取り計らいますようお願い申し上げます。

なお、都は、都の緊急事態措置等に対しての都民の問合せに対応するコールセンター「東京都緊急事態措置等・感染拡大防止協力金相談センター」を設置しております。合わせまして、関係者の皆様に周知いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 【送付資料】

資料1・・・令和3年2月2日付け事務連絡

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間延長及び区域変更について

※別紙については、内閣官房ホームページをご参照ください。

(別紙1) 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間延長及び区域変更

[https://corona.go.jp/news/pdf/kinkyujitaisengen\\_houkoku\\_20210202.pdf](https://corona.go.jp/news/pdf/kinkyujitaisengen_houkoku_20210202.pdf)

(別紙2) 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(令和3年2月2日変更)

[https://corona.go.jp/expert-meeting/pdf/kihon\\_h\\_20210202.pdf](https://corona.go.jp/expert-meeting/pdf/kihon_h_20210202.pdf)

資料2・・・令和3年2月2日

新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等

資料3・・・令和3年2月4日付け事務連絡

緊急事態宣言に伴う催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について

事務連絡

令和3年2月2日

各都道府県

新型コロナウイルス感染症対策担当部局 宛

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間延長及び区域変更について

新型コロナウイルス感染症対策に関して、本日、新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）第32条第3項の規定に基づき、緊急事態措置を実施すべき区域を埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県の10都府県に変更するとともに、これらの区域において緊急事態措置を実施すべき期間を令和3年3月7日まで延長することとされました。

また、同日、同条第6項の規定に基づき、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（以下「基本的対処方針」という。）が変更されましたので、別紙1及び2のとおりお知らせします。

各都道府県におかれましては、基本的対処方針に基づき新型コロナウイルス感染症対策を着実に実施していただくとともに、管内市町村及び指定地方公共機関への周知を図る等の対応をお願いします。

（別紙1）新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間延長及び区域変更

（別紙2）新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針

令和2年3月28日（令和3年2月2日変更）

（連絡先）

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室  
企画第2担当 松浦・高橋・廣瀬・山野・鈴木・矢部  
直通 03 (6257) 3086  
e-mail g.singatainnfuru.taisaku001@cas.go.jp  
ryuta.matsuura.j2p@cas.go.jp  
daisuke.takahashi.c9z@cas.go.jp  
akihiro.hirose.k7f@cas.go.jp  
takahiro.yamano.k2s@cas.go.jp  
haruto.suzuki.v7a@cas.go.jp  
tomoyuki.yabe.n4v@cas.go.jp

# 新型コロナウイルス感染拡大防止のための 東京都における緊急事態措置等

---

令和3年2月2日

# 1. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等

---

## 1. 区域

都内全域

## 2. 期間

令和3年2月8日（月曜日）0時から3月7日（日曜日）24時まで

## 3. 実施内容

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、人流の抑制を最優先に、以下の要請を実施

### （1）都民向け：日中も含めた不要不急の外出自粛

- ・医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要な場合を除き、原則として外出しないこと等を要請  
(新型インフルエンザ等対策特別措置法第45条第1項)

### （2）事業者向け：営業時間の短縮、催物（イベント等）の開催制限

- ・施設管理者（次頁「①施設の使用制限」に掲げる施設）に対して営業時間の短縮を要請するとともに、業種別ガイドラインの遵守を要請（法第24条第9項）
- ・イベント主催者等に対して規模要件等（人数上限・収容率、飲食を伴わないこと等）に沿ったイベントの開催等を要請（法第24条第9項）

## 2. 緊急事態措置（施設の使用制限・イベントの開催制限）等の概要

### <① 施設の使用制限>

（下線については、特措法に基づく要請）

施設の種類	施設	内容
飲食店	飲食店（居酒屋を含む。）、喫茶店等 （宅配・テイクアウトサービスは除く。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業時間短縮を要請 （営業時間は5時から20時まで。ただし、酒類の提供は11時から19時まで）</li> <li>・業種別ガイドラインの遵守を要請</li> <li>・令和3年2月8日（月）0時～3月7日（日）24時</li> </ul>
遊興施設等	バー、カラオケボックス等で、食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗	

### <※ 緊急事態措置以外の対応>

施設の種類	内容
遊興施設（食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗等を除く。）、劇場、観覧場、映画館又は演芸場、集会場又は公会堂、展示場、物品販売業を営む店舗（1,000平米超）（生活必需物資を除く。）、ホテル又は旅館（集会の用に供する部分に限る。）、運動施設又は遊技場及び博物館、美術館又は図書館、サービス業を営む店舗（1,000平米超）（生活必需サービスを除く。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20時以降の営業時間短縮、酒類提供は11時から19時までを協力依頼</li> <li>・業種別ガイドラインの遵守を協力依頼</li> <li>・令和3年2月8日（月）0時～3月7日（日）24時</li> </ul>
イベント関係の施設である、劇場、観覧場、映画館又は演芸場、集会場又は公会堂、展示場、ホテル又は旅館（集会の用に供する部分に限る。）、運動施設、遊技場、博物館、美術館又は図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数上限5,000人、かつ、収容率50%以下を協力依頼</li> <li>・令和3年2月8日（月）0時～3月7日（日）24時</li> </ul>

### <② イベントの開催制限>

（下線については、特措法に基づく要請）

内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数上限5,000人、かつ、収容率50%以下の要件に厳格化（あわせて、20時以降の営業時間短縮の協力依頼）</li> <li>・令和3年2月8日（月）0時～3月7日（日）24時</li> </ul>

特定都道府県等においては、緊急事態宣言に伴う催物の開催制限の目安、施設の使用制限等の留意事項に基づき、適正な運用を実施されたい。また、関係各府省庁においては、関係団体等を通じて、営業時間短縮要請への協力、感染防止策の徹底等を促すための適切な周知・助言等を行われたい。

事務連絡  
令和3年2月4日

各都道府県知事 殿

各府省庁担当課室 各位

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長

緊急事態宣言に伴う催物の開催制限、施設の使用制限等に係る  
留意事項等について

今般、新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号。以下、「特措法」という。）第32条第1項に基づく緊急事態宣言を行い、基本的対処方針を改定したところ、都道府県対策本部において法に基づく適正な運用がなされるよう、下記のとおり、留意すべき事項等を示す。概要は別紙1のとおり。なお、感染状況や新たな知見が得られる等の状況に応じ、通知内容を見直す場合がある。

また、緊急事態宣言解除後の取扱いについては、別途通知する。

記

1. 催物の開催制限

(1) 特定都道府県

①催物の開催制限の目安

基本的対処方針の三(3)2)に基づき、緊急事態宣言発出中の催物開催の目安を以下のとおりとする。

- ・ 屋内、屋外ともに5,000人以下。
- ・ 上記人数要件に加え、屋内にあっては収容定員の50%以内の参加人数にすること。屋外にあっては人と人との距離を十分に確保できること（できるだけ2m）。

また、祭り、花火大会、野外フェスティバル等、参加者が自由に移動でき、かつ、入退場時や区域内の適切な行動確保ができない催物に

については、令和2年9月11日付け事務連絡1.(2)のとおり取り扱うこと。

なお、催物開催に当たっては、別紙2に留意するよう促すとともに、業種別ガイドラインの徹底や催物の開催時及び前後の「三つの密」及び飲食を回避するための方策が徹底できない場合には、開催について慎重に判断すること。

## ②人数上限及び収容率要件の解釈

上記の人数や収容率の要件の解釈については、令和2年9月11日付け事務連絡1.(3)のとおり取り扱うこと。

## ③その他留意事項

### (I) 営業時間短縮等の働きかけ

基本的対処方針三(3)3)の趣旨を踏まえ、特定都道府県においては、20時までの営業時間短縮(酒類の提供は11時から19時まで)を働きかけることとする。なお、無観客で開催される催物等については、営業時間短縮の働きかけの対象とする必要はない。

### (II) 本目安の取扱い

上記の①、②及び③(I)について、以下のとおり取り扱うこと。

- 本目安は、本事務連絡が発出された日から、最大4日間の周知期間を経て、その翌日から適用すること。具体的には、チケット販売開始時期等に応じ、次のとおりとすること。

ア 本事務連絡が発出された日までにチケット販売が開始された催物(優先販売など、名前の如何に関わらず、何らかの形で販売が開始されているもの)

本事務連絡が発出された日までに販売済のチケット及び周知期間中に販売されるチケットは上記①、②及び③(I)は適用せず、キャンセル不要と扱うこと。ただし、周知期間終了後(新しい目安が適用された日)から、新たな目安を超過するチケットの新規販売を停止すること。

イ 本事務連絡が発出された日までにチケット販売が開始されていない催物

・ 上記周知期間内に販売開始されるもの

周知期間内に販売されるチケットは、上記①、②及び③(I)は適用せず、キャンセル不要と扱うこと。ただし、周知期間終了後(本目安が適用された日)から、本目安を超過するチケッ



トの新規販売を停止すること。

- ・上記周知期間後に販売開始されるもの  
上記①、②及び③（Ⅰ）によること。

### （Ⅲ）年度末に向けて行われる行事等

年度末に向けて人の移動が活発になり、また、卒業式等の行事の開催が見込まれる。こうした行事については、感染防止を徹底するとともに、人と人との間隔を十分に確保する等、適切な開催方法を検討するよう働きかけること。特に、より多くの人が集まる行事、例えば、大学の卒業式は適切な開催のあり方を慎重に判断するよう働きかけること。

飲食につながる謝恩会及びこれに類するものについては、自粛を働きかけること。

卒業旅行については、若者が感染に気付かず活発に移動することにより、高齢者等に感染を広げている実情を踏まえ、自粛を働きかけること。

## （2）特定都道府県の対象から除外された都道府県

### ①催物の開催制限の目安等

特定都道府県の対象から除外された都道府県については、地域の感染状況等を踏まえながら、段階的緩和を検討すること。

また、「1.（1）③その他留意事項（Ⅱ）」を準用すること。

### ②年度末に向けて行われる行事等

「1.（1）③（Ⅲ）年度末に向けて行われる行事等」を踏まえつつ、感染状況等に応じて、「1.（3）②年度末に向けて行われる行事等」の準用を検討すること。

## （3）その他の都道府県

### ①催物の開催制限の目安等

令和2年11月12日付け事務連絡のとおり取り扱うこと。

ステージⅢ相当の対策が必要な地域においては、それぞれの地域の

感染状況等に応じて、国として示した目安より厳しい基準を設定し、ことに留意し、各地域の感染状況等に応じて、各都道府県知事が適切に判断すること。

## ②年度末に向けて行われる行事等

卒業式等の行事については、感染防止を徹底するとともに、人と人との間隔を十分に確保する等、適切な開催方法を検討するよう働きかけること。

謝宴会及びこれに類するものについては、飲食を伴わない開催を検討するよう働きかけること。飲食を伴う場合には、令和2年12月11日付け事務連絡「Ⅱ 1. (1)忘年会・新年会」に記載の工夫を働きかけること。

卒業旅行については、時と場所が分散される「分散型旅行」を図り、なるべく混雑しない平日の間、いつもの仲間での行動などを働きかけること。

## 2. 施設の使用制限等

### (1) 特定都道府県

#### ①特措法に基づく営業時間の短縮等の要請を行う施設

以下に掲げるものについては、基本的対処方針二①及び②並びに三(3)3)を踏まえ、以下のとおり取り扱うこと。

#### (ア) 飲食店(第14号)

原則として、20時までの営業時間の短縮(酒類の提供は11時から19時まで)を要請すること。また、業種別ガイドラインを遵守するよう要請を行うものとする。要請に当たっては、関係機関とも連携し、営業時間の短縮等を徹底するための対策・体制の強化を行い、できる限り個別に施設に対して働きかけを行うこと。その際、併せて、事業者に対して、業種別ガイドラインの遵守を働きかけること。

#### (イ) 遊興施設(第11号)のうち、食品衛生法上における飲食店営業の許可を受けている飲食店(次の②に示す施設を除く。)

原則として、20時までの営業時間の短縮(酒類の提供は11時から19時まで)を要請すること。また、業種別ガイドラインを遵守するよう要請を行うものとする。要請に当たっては、関係機関とも連携し、営業時間の短縮等を徹底するための対策・体制の強化を行い、できる限り個別に施設に対して働きかけを行うこと。そ

の際、併せて、事業者に対して、業種別ガイドラインの遵守を働きかけること。

なお、後記②に示す施設（ネットカフェ・マンガ喫茶等、宿泊を目的とした利用が相当程度見込まれる施設）に該当する場合は、営業時間要請の対象にしないこと。

関係各府省庁においては、関係団体への周知等、上記の感染防止対策の徹底等に必要な協力等を行うこと。

## ②①と同様の営業時間の短縮等の働きかけを行う施設

基本的対処方針三（３）３）の趣旨を踏まえ、特定都道府県においては、以下に掲げるものについては、２０時までの営業時間の短縮（酒類の提供は１１時から１９時まで）を働きかけるとともに、業種別ガイドライン等を遵守するよう要請すること。

- 劇場、観覧場、映画館又は演芸場（第４号）
- 集会場又は公会堂（第５号）
- 展示場（第６号）
- 1000平米を超える物品販売業を営む店舗（食品、医薬品、医療機器その他衛生用品、再生医療等製品又は燃料その他生活に欠くことができない物品として厚生労働大臣が定めるものの売場を除く。）（第７号）
- ホテル又は旅館（集会の用に供する部分に限る。）（第８号）
- 運動施設、遊技場（第９号）
- 博物館、美術館又は図書館（第１０号）
- 遊興施設のうち、食品衛生法上における飲食店営業の許可を受けていない施設（第１１号）
- 1000平米を超えるサービス業を営む店舗（生活必需サービスを除く。）（第１２号）

また、劇場、観覧場、映画館又は演芸場（第４号）、集会場又は公会堂（第５号）、展示場（第６号）、ホテル又は旅館（集会の用に供する部分に限る。）、運動施設又は遊技場（第９号）及び博物館、美術館又は図書館（第１０号）については、人数上限5,000人、かつ、収容率要件50%以下とすることの働きかけをあわせて行うこと。

2.（１）②について、「1.（１）③その他留意事項（Ⅱ）」を準用すること。

なお、特定都道府県においては、以下に掲げるものについては、業種別ガイドラインに基づく感染防止対策が徹底されることを前提に、施設の使用制限等の要請等を行わないこと。

- 学校（第1号）
- 保育所、介護老人保健施設等（第2号）
- 大学等（第3号）
- 生活必需物資（食品、医薬品、医療機器その他衛生用品、再生医療等製品又は燃料その他生活に欠くことができない物品として厚生労働大臣が定めるもの）の物品販売業を営む店舗（第7号）
- 遊興施設のうち、ネットカフェ・マンガ喫茶等、宿泊を目的とした利用が相当程度見込まれる施設（第11号）
- サービス業を営む店舗のうち、生活必需サービスを営む店舗（第12号）
- 学習支援業を営む施設（第13号）

関係各府省庁においては、関係団体への周知等、上記施設における感染防止対策の徹底等に必要な協力等を行うこと。

## （2）特定都道府県の対象から除外された都道府県

### ①特措法に基づく営業時間の短縮の要請を行う施設

「2.（1）① 特措法に基づく営業時間の短縮の要請を行う施設」については、ステージⅡ相当以下に下がるまで営業時間の短縮の要請を継続すること。なお、営業時間及び対象地域等については、地域の感染状況等に応じ、各都道府県知事が適切に判断すること。

### ② ①と同様の営業時間短縮の働きかけを行う施設

「2.（1）② ①と同様の営業時間短縮の働きかけを行う施設」については、地域の感染状況等に応じ、営業時間の短縮等の働きかけについて、各都道府県知事が適切に判断すること。

## （3）その他の都道府県

各都道府県は、令和2年5月25日付け事務連絡4.（1）、令和2年7月8日付け事務連絡3.、令和2年7月17日付け事務連絡等に基づき、感染防止策の徹底等、施設管理者への必要な協力要請を実施する

こと。

### 3. 飲食店等における営業時間短縮の要請等の協力の周知徹底

基本的対処方針二①及び②並びに三(3)3)の趣旨を踏まえ、関係各府省庁におかれては、緊急事態宣言が発出される地域であるか否かにかかわらず、営業時間短縮の要請等がなされた場合には、関係団体からその傘下会員に対して以下のとおりその周知・依頼がなされるよう、関係団体に対して周知されたい。

- ・自治体から営業時間短縮の要請等がなされた場合には、その要請に従っていただくこと
- ・自治体からの営業時間短縮の実態把握等が行われた場合には、ご協力いただくこと

### 4. 職場・飲食店における業種別ガイドラインの遵守徹底

職場（公務の職場を含む）等においては、感染防止のための取組（手洗いや手指消毒、咳エチケット、職員同士の距離確保、事業場の換気励行、複数人が触る箇所の消毒、発熱等の症状が見られる従業員の出勤自粛、出張による従業員の移動を減らすためのテレビ会議の活用等）や「三つの密」や「感染リスクが高まる「5つの場面」」等を避ける行動を徹底するよう促すこと。特に職場での「居場所の切り替わり」（休憩室、更衣室、喫煙室等）に注意するよう周知すること。さらに、職場や店舗等に関して、業種別ガイドライン等を実践するよう働きかけること。その際には、特に留意すべき事項（別紙3）の確認を促し、遵守している事業者には対策実施を宣言させる等、感染防止のための取組を強く勧奨すること。

## 施設利用・イベント関係の主な緊急事態措置の概要

### (基本的な考え方)

- 1/8以降、緊急事態措置として講じてきた取組を徹底する。具体的には、
  - ✓ 緊急事態措置を実施すべき区域においては、感染リスクの高い場面に効果的な対策を徹底する。
  - ✓ 飲食を伴うものを中心として対策を講じることとし、その実効性を上げるために、飲食につながる人の流れを制限することを実施する(具体的には、飲食店等に対する営業時間短縮要請、外出自粛、テレワークの推進等の取組を強力に推進する。)
  - ✓ 業種別ガイドライン等を遵守するよう要請する。

### <施設利用関係>

施設の 種類	施 設	緊急事態宣言での措置
飲食店	飲食店(居酒屋を含む。)、喫茶店 等(宅配・テイクアウトサービスは除く。)	・20時までの営業時間短縮、11時から19時までの酒類提供を要請
遊興施設	バー、カラオケボックス等で、食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗	

### <イベント関係>

人数上限5,000人、かつ、収容率50%以下の要件に厳格化(あわせて、20時までの営業時間短縮の働きかけ)

### (その他留意事項)

- 卒業式等については、人と人との間隔を十分に確保する等、適切な開催方法を検討するよう働きかける。
- 飲食につながる謝恩会及びこれに類するものは、自粛を働きかける。また卒業旅行も、自粛を働きかける。

## 緊急事態措置以外の対応

### <施設利用関係>

施 設	緊急事態措置以外の対応
運動施設、遊技場	<ul style="list-style-type: none"> <li>-20時までの営業時間短縮、19時までの酒類提供</li> <li>-人数上限5,000人、かつ、収容率要件50%以下とすること</li> </ul> の働きかけ
劇場、観覧場、映画館又は演芸場	
集会場又は公会堂、展示場	
博物館、美術館又は図書館	
ホテル又は旅館(集会の用に供する部分に限る。)	
遊興施設(食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗及び別途通知する施設を除く。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>-20時までの営業時間短縮、19時までの酒類提供</li> </ul> の働きかけ
物品販売業を営む店舗(1000平米超)(生活必需物資を除く。)	
サービス業を営む店舗(1000平米超)(生活必需サービスを除く。)	

## イベント開催時の必要な感染防止策①

## (1) 徹底した感染防止等 (収容率50%を超える催物を開催するための前提)

- |                |  |
|----------------|--|
| ① マスク常時着用の担保   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マスク着用状況を確認し、個別に注意等を行い、マスクの常時着用を求める。</li> <li>* マスクを持参していない者がいた場合は主催者側で配布・販売を行い、マスク100%を担保。</li> </ul>                     |
| ② 大声を出さないことの担保 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大声を出す者がいた場合、個別に注意等ができるもの。</li> <li>* 隣席の者との日常会話程度は可 (マスクの着用が前提)</li> <li>* 演者が歌唱等を行う場合、舞台から観客まで一定の距離を確保 (最低2m)</li> </ul> |

## (2) 基本的な感染防止等

- |            |  |
|------------|--|
| ③ ①～②の奨励   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①～②は、イベントの性質に応じて可能な限り実行 (ガイドラインで定める)</li> <li>* マスク着用状況が確認でき、着用していない場合は個別に注意等を行うこと</li> <li>* 大声を出す者がいた場合等、個別に注意等を行うこと (例: スポーツイベント等ではラッパ等の鳴り物を禁止すること等)</li> </ul>  |
| ④ 手洗       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こまめな手洗の奨励</li> </ul>  |
| ⑤ 消毒       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主催者側による施設内 (出入口、トイレ、ウイルスが付着した可能性のある場所等) のこまめな消毒、消毒液の設置、手指消毒</li> </ul>  |
| ⑥ 換気       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法令等を遵守した空調設備の設置、こまめな換気</li> </ul>   |
| ⑦ 密集の回避    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入退場時の密集回避 (時間差入退場等)、待合場所等の密集回避</li> <li>* 必要に応じ、人員の配置、導線の確保等の体制を構築するとともに、入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はそのキャパシティに応じ、収容人数を制限</li> </ul>   |
| ⑧ 身体的距離の確保 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大声を伴う可能性のあるイベントでは隣席との身体的距離の確保。具体的には、同一の観客グループ間 (5名以内に限る。) では座席を空けず、グループ間は1席 (立席の場合1m) 空ける。</li> <li>・ 演者が発声する場合には、舞台から観客の間隔を2m確保</li> <li>・ 混雑時の身体的距離を確保した誘導、密にならない程度の間隔 (最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔)</li> </ul> |



## イベント開催時の必要な感染防止策②

### (2) 基本的な感染防止等 (続き)

- |                 |   |
|-----------------|---|
| ⑨ 飲食の制限         | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限</li><li>・ 休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底</li><li>・ 過度な飲酒の自粛</li><li>・ 食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、収容率が50%を超える場合、飲食可能エリア以外（例：観客席等）は原則自粛。<br/>（発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保、会話が想定される場合の飲食禁止、十分な換気等、一定要件を満たす場合に限り、食事可。）</li></ul> |
| ⑩ 参加者の制限        | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 入場時の検温、入場を断った際の払い戻し措置</li><li>*ただし、発熱者・有症状者の入場は断る等のルールをイベント開催前に明確に規定し、当該規定を十分周知している場合は払い戻し不要。</li></ul>   |
| ⑪ 参加者の把握        | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握</li><li>・ 接触確認アプリ（COCOA）や各地域の通知サービスの奨励</li><li>*アプリのQRコードを入口に掲示すること等による具体的な促進措置の導入</li></ul>  |
| ⑫ 演者の行動管理       | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 有症状者は出演・練習を控える</li><li>・ 演者・選手等と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じるとともに、接触が防止できないおそれがあるイベントについては開催を見合わせる</li><li>・ 合唱等、声を発出する演者間での感染リスクへの対処</li></ul>  |
| ⑬ 催物前後の行動管理     | <ul style="list-style-type: none"><li>・ イベント前後の感染防止の注意喚起</li><li>*可能な限り、予約システム、デジタル技術等の活用により分散利用を促進</li></ul>   |
| ⑭ ガイドライン遵守の旨の公表 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 主催者及び施設管理者が、業種別ガイドラインに従った取組を行う旨、HP等で公表</li></ul>  |

### (3) イベント開催の共通の前提

- |                 |  |
|-----------------|--|
| ⑮ 入退場やエリア内の行動管理 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 広域的なこと等により、入退場や区域内の行動管理ができないものは開催を慎重に検討</li><li>*来場者の区画を限定、管理した花火大会などは可。具体的には、①身体的距離の確保、②密集の回避、③飲食制限、④大声禁止、⑤催物前後の行動管理、⑥連絡先の把握等を担保することが求められる。</li></ul> |
| ⑯ 地域の感染状況に応じた対応 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 大規模イベントは、事前に収容率制限等も含めて都道府県と相談</li><li>・ 地域の感染状況の変化があった場合は柔軟に対応</li></ul>   |

※上記のうち、基本的な感染防止等が徹底されていない場合、従来の目安（人数上限5,000人又は収容率要件50%のいずれか小さいほう）を原則として、各都道府県が個別のイベント開催について適切に判断すること。

# 飲食の場における新型コロナウイルス感染症防止対策宣言

## ～取組の5つのポイント～

- 座席の配置などを工夫し、密にならず、他のお客様との間隔を十分に取っています。
- 対面防止、定期的な換気、仕切り、飲食時以外のマスク徹底、消毒液の設置など、感染防止の基本的な対策を徹底しています。
- 要請された営業時間を守っています。
- “長時間飲食・飲みすぎ” にならないように呼びかけするなど、「感染リスクが高まる『5つの場面』」での工夫を行っています。
- 体調がすぐれない人が気兼ねなく休めるルールを定め、実行できる雰囲気を作っています。

## 職場における新型コロナウイルス感染症防止対策宣言 ～取組の5つのポイント～

- テレワーク・時差出勤等を推進しています。
- 体調がすぐれない人が気兼ねなく休めるルールを定め、実行できる雰囲気を作っています。
- 職員間の距離確保、定期的な換気、仕切り、マスク徹底など、密にならない工夫を行っています。
- 休憩所、更衣室などの“場の切り替わり”や、飲食の場など「感染リスクが高まる『5つの場面』」での対策・呼びかけを行っています。
- 手洗いや手指消毒、咳エチケット、複数人が触る箇所の消毒など、感染防止のための基本的な対策を行っています。